

防止の乱用等薬剤せい覚

人生を狂わす「一度だけ」



薬物の乱用とは、医療品を医療目的以外に使用することや、医療目的でない薬物を不正に使用することです。

精神に影響を及ぼす物質の中で、習慣性があり乱用され、又は乱用される恐れのある物質として、覚せい剤・大麻・MDMA・コカ

イン・ヘロイン・LSD・向精神薬・シンナー等があり、これらの取り扱いには法律により禁止、又は制限されています。

薬物を乱用すると中枢神経に作用し、快感を得たり、薬物の効果が切れたときの苦痛等から逃れるため、薬物による効果を強く求めるようになる「依存性」が形成されます。

また、薬物を繰り返し使用していくうちに、同じ量では効かなくなる「耐性」が生じます。

「一度だけ」と言う好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存性と耐性によって、乱用する量や回数が増え、いくつという悪循環に陥ります。



日本に滞在する来日外国人の中には不法就労を行い、その一部は近年深刻化している国際組織犯罪等への関与を深めていると思われま

す。不法滞在者や働くことが出来ない在留資格の外国人を雇用したり、密航等を手助けした場合は処罰されます。

吉田島事件簿

最近、開成町内において標識の支柱やポールに対して、折り曲げたりするなどのいたずらが発生しています。不審者発見の際は通報してください。



これからの季節、窓を網戸にして涼しい風を取り入れたり窓の鍵を開けておく機会が増えると思います。家を留守にする際は、施錠を確実に行って外出するようにしましょう。

また、アパート・マンションの一階部分のベランダから洗濯物が盗まれる被害も発生しています。不審者発見の際は110番通報をお願いします。

松田警察署管内において、警察官や金融機関の職員を騙って、「キャッシュカードやクレジットカードが不正に使われているので新しいカードに交換する。」と言って、カードを回収する詐欺の電話が掛かってきています。相手にカード等を手渡さないようにしてください。

松田警察署管内において、警察官や金融機関の職員を騙って、「キャッシュカードやクレジットカードが不正に使われているので新しいカードに交換する。」と言って、カードを回収する詐欺の電話が掛かってきています。相手にカード等を手渡さないようにしてください。



神奈川県内では、本年3月末現在で二輪車が関係する交通事故の発生件数、負傷者数は前年に比べて減少しましたが、二輪車乗車中に亡くなられた方は18人と前年に比べて14人増加しています。

スピードを控えめに、心にゆとりをもって運転しましょう。

また、夜間は明るい服装を心掛け、反射材等を活用してください。



神奈川県内では、二輪車や高齢者が関係した事故が増加傾向にあります。

自転車も乗れば車の仲間入り、交通ルールを守って事故のないようにしましょう。